

東海地方の天候（令和6年1月）

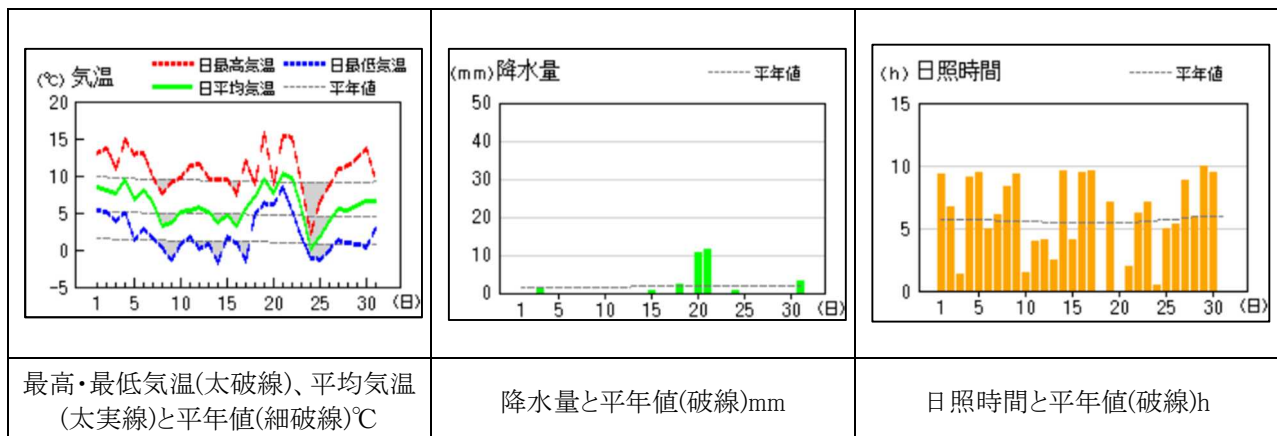
1 概況

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、岐阜県山間部では曇りや雪または雨の日が多くなりました。下旬には強い寒気が流れ込んだ日もありましたが、月を通して寒気の影響が弱かったため、月平均気温はかなり高くなりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「平年並」となりました。

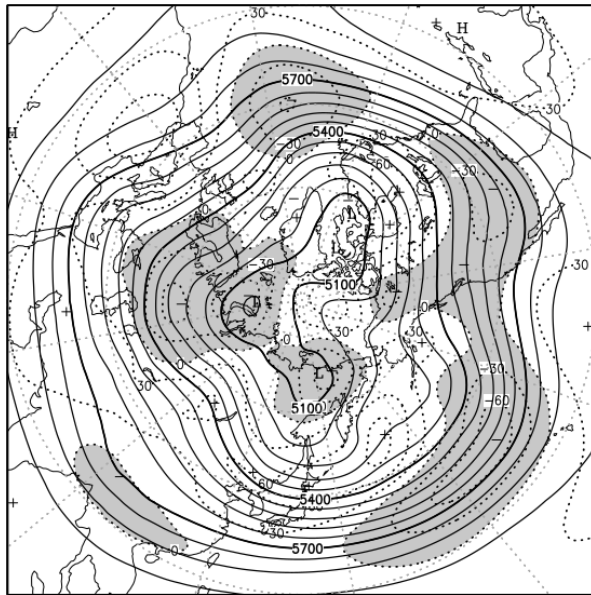
旬ごとの概況	
上旬	<p>冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。また、寒気の影響が弱く、暖かい空気が流れ込んだ日もありました。このため、旬平均気温は高く、旬降水量は少なく、旬間日照時間は多くなりました。</p> <p>旬の平均気温は「高い」、降水量は「少ない」、日照時間は「多い」となりました。</p>
中旬	<p>旬の中頃にかけて冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、岐阜県山間部では曇りや雪または雨の日が多くなりました。終わり頃は前線や低気圧の影響で曇りや雨となりました。寒気の影響が弱かったため旬平均気温は高くなりました。</p> <p>旬の平均気温は「高い」、降水量は「平年並」、日照時間は「平年並」となりました。</p>
下旬	<p>旬のはじめに前線や低気圧の影響でまとまった雨が降ったため、旬降水量は多くなりました。その後、冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、24日から25日にかけて強い寒気が流れ込み、岐阜県山間部を中心に平野部でも大雪となった所がありました。旬平均気温は、旬を通しては寒気の影響が弱く、暖かい空気が流れ込んだ日もあったため高くなりました。</p> <p>旬の平均気温は「高い」、降水量は「多い」、日照時間は「平年並」となりました。</p>

参考 時系列図（名古屋地方气象台）



2 大気の流れの特徴

1月の500hPa天気図（高度・偏差）と解説



（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m）
陰影域は負偏差

極渦がユーラシア大陸北部に偏在し、その南縁を寒帯前線ジェット気流が流れました。日本付近は寒気の南下が弱くなりましたが、時折、極渦の一部が南下して、寒気の影響を受けた時期もありました。

3 各地の気象台・特別地域気象観測所の実況

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		降雪深さ(平年値) 階級		最深積雪(平年値) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)
静岡	8.7	(+1.8) ++	66.0	(83) ○	5	209.8	(101) ○	-	(0)	-	(-)
浜松	7.8	(+1.5) ++	33.5	(57) -	5	207.2	(100) ○	()	()	()	()
御前崎	8.6	(+1.7) ++	20.0	(25) -*	5	198.7	(97) ○	()	()	()	()
三島	7.8	(+1.9) ++	73.0	(100) ○	6	198.0	(106) ○	()	()	()	()
石廊崎	10.1	(+1.9) ++	45.5	(67) ○	6	185.1	(102) ○	()	()	()	()
網代	9.0	(+2.0) ++	44.0	(58) -	2	164.4	(112) +	()	()	()	()
名古屋	6.0	(+1.2) +	29.5	(58) ○	5	176.4	(101) ○	-	(4) -	0	(3) -
伊良湖	7.1	(+1.1) ++	38.0	(61) -	6	185.6	(103) ○	()	()	()	()
岐阜	5.7	(+1.1) +	58.0	(88) ○	8	170.2	(106) +	15	(14) ○	14	(10) +
高山	-0.1	(+1.1) +	104.0	(102) ○	13	85.4	(92) ○	70	(117) -	27	(44) -
津	6.7	(+1.0) ++	55.5	(114) +	5	172.0	(106) ○	-	(2) -	-	(2) -
上野	4.5	(+1.0) ++	29.5	(58) -	8	139.5	(112) ○	()	()	()	()
尾鷲	8.0	(+1.5) ++	204.5	(193) +	4	187.1	(104) ○	()	()	()	()
四日市	5.3	(+1.0) ++	52.5	(95) ○	8	158.6	(104) ○	()	()	()	()
東海地方	----	(+1.4) ++	----	(83) ○	--	----	(103) ○	--	(--)	--	(--)

注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い (多い) ○ : 平年並 - : 低い (少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い (多い) かなり低い (少ない)

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に「) や]」がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができる。]付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

4 令和6年（2024年）1月の順位更新表

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
2	網代	9.0 =	+2.0	9.1（1989）	1938	7.0
3	三島	7.8	+1.9	8.1（2020）	1931	5.9
	尾鷲	8.0 =	+1.5	8.7（2020）	1939	6.5

参考資料 平年並の範囲（東海地方）

1月	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
上旬	-0.6 ～ +0.4℃	34 ～ 136%	98 ～ 108%
中旬	-0.5 ～ +0.4℃	48 ～ 106%	93 ～ 108%
下旬	-0.8 ～ +0.3℃	46 ～ 80%	95 ～ 107%
月	-0.2 ～ +0.1℃	64 ～ 109%	96 ～ 106%

資料の解説

- ・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。
- ・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めています。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。
- ・岐阜県の「山地」と「岐阜県山間部」について
岐阜県の天気予報では、標高500mより高い地域を「山地」、低い地域を「平地」として大雪警報や注意報、また降雪量の予想などを発表しています。一方、季節予報や週間天気予報では、冬季に東海地方の他の地域と比べて気候的に曇りや雪の日が多い、岐阜県飛騨地方の全域と美濃地方の山地を合わせた地域を「岐阜県山間部」と呼んでいます。